

先行実施2年目を迎えて

会長 小島みつる (北区立西浮間小学校長)



学校はそこで学ぶ児童にとって「社会」そのものです。この小さな社会の中で、児童は大きな社会でよりよく生きていくための力を身に付けていきます。「自分には(学校・学級)を変える力がある。」「みんなの力を合わせれば、より楽しい社会(学級・学校)が創れる。」これを体感できるのが特別活動であると考えます。

令和元年度を迎え、特別活動は新学習指導要領先行実施2年目となりました。新学習指導要領では、特別活動で育てる資質・能力の3つの視点である「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を踏まえ、社会や集団の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して資質・能力を育成することが示されています。

本研究会では、昨年度までの3年間、「自己有用感を高める望ましい集団活動」を研究主題として、「自己有用感を高める」ための具体的手だてとその有効性の検証方法を探り、研究の成果をまとめました。(本研究会研究紀要第55号をご参照ください。)これまでの研究の成果を生かし、今年度からは新たな研究主題「集団や自己の生活上の課題を解決し、『自己実現』を目指す力を育てる特別活動」を設定し、学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部の4研究部を中心に、実践研究を進めてまいります。

特別活動は、教科書のある他の教科と違い各学校・学級での実践内容に大きな差異があることは否めません。「読み・書き・計算」の力を付けるだけであれば、AIに教師の仕事は取って代わられるかもしれません。けれど、より良い社会を創造し協働する力を育てることは人にしかできないでしょう。つまり、どんなに技術革新が成されても、特別活動を指導できるのは私たち教師だけなのです。本研究会では今年度も4研究部ごとに2～3回、授業研究協議会を行います。申し込み等は必要ありませんので積極的にご参加ください。研究部での忌憚ない議論を通して共に指導力を高め、未来を担う子供たちのために特別活動の充実を図ってまいりましょう。

令和2年2月14日(金)北区西浮間小学校において研究発表会を行います。ぜひ多くの先生方にご参会いただき、ご意見、ご感想などを賜りますようお願い申し上げます。

都小特活

第105号

東京都小学校
特別活動研究会

令和元年10月発行

発行人
小島みつる

本年度の研究の基調

研究部長 氣田 眞由美 (板橋区立上板橋第四小学校長)

1 研究主題

「集団や自己の生活上の課題を解決し、『自己実現』を目指す力を育てる特別活動」

2 主題設定の背景及び理由

本年度から新たな研究主題での研究1年目となる。

新学習指導要領 第1の目標の(1)(2)(3)の資質・能力の一つに「学びに向かう力 人間性等」における「自己実現」が示されている。また、特別活動において育成を目指す資質・能力における重要な要素として、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点で整理されている。

これまで本研究会では、様々な研究主題を掲げ、特に「人間関係形成」「社会参画」については重点的に取り組んできた。今年度から3年間の研究においては、「学びに向かう力 人間性等」の資質・能力の重要な視点である「自己実現」を取り上げ、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事において研究を深める。

3 本研究における「自己実現」について

以下のように「自己実現」を捉えている。

特別活動においては、集団の中で、現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする視点である。(学習指導要領解説第2章 第1節)

4 研究を進めるにあたって

各活動・学校行事において、以下について研究を深めていく。本研究における「自己実現」は、学級活動「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」でいうところの「自己実現」のみの捉え方ではないが、各活動、学校行事において、「キャリア形成」の視点をおさえることや「キャリア形成」を意識した手だてに留意することで、今回の改訂において示された「特別活動を要として、学校の教育活動全体を通してキャリア教育を適切に行う」という視点を踏まえることとする。

その上で、

- ・「自己実現」の捉え方を明確にする
- ・「自己実現」の具体的な子供の姿を明らかにする
- ・目標に示されている「課題を解決することを通して」資質・能力の育成を目指す
- ・各活動・学校行事において、話し合い・実践・振り返り・次の課題解決という学習過程を大事にする

5 研究計画

- ① 令和元年度：仮説を立て、具体的手だてと学習過程を明確にした授業実践
- ② 令和2年度：実践を裏付ける理論・仮説の検証
- ③ 令和3年度：汎用性・再現性のある提案

学級活動部

部長 藤田 寛樹 (文京区立湯島小学校)

◎活動部主題◎

「互いに認め合い、
自己のよさを生かす学級活動」

1 主題設定の理由

昨年度までの研究主題「もち味を生かし、互いに認め合い高め合う学級活動」では、自己有用感を高めることを意図した可視化の工夫や互いに認め合い高め合うための活動の充実について、実践と検証を重ねてきた。研究を通して、児童一人一人の活躍の場が広がったり、人の役に立つことを実感させたりと、学級活動部で積み上げてきた手だてを重ねることで、児童が自分たちで工夫して学級会をすすめられるようになり、自己有用感の向上につながった。

今年度の本研究会全体の研究主題「集団や自己の生活上の課題を解決し、『自己実現』を目指す力を育てる特別活動」を受け、学級活動(1)、(2)、(3)で目指す「自己実現」の内容は違うであろうという仮説から、学級活動部の研究主題を「互いに認め合い、自己のよさを生かす学級

活動」と設定した。

研究主題を設定した初年度であり、学級活動における「自己実現」の定義や評価、有効な手だてなどについて実践研究をすすめる中で深めていく。

2 研究の視点

- ① 学級活動における「自己実現」の捉え方
- ② 学習過程における「自己実現」を目指す力の育成に有効な手だての実践、検証
- ③ 「自己実現」を目指す力の評価と授業改善

3 検証授業の予定

- 9月26日(木) 足立区立千寿第八小学校
学級活動(3)
大野 和代 指導教諭(3年)
- 12月6日(金) 港区立港南小学校
学級活動(1)
高橋 佳大 教諭(4年)

児童会活動部

部長 大藏 久美 (小平市立小平第六小学校)

◎活動部主題◎

「関わりの中で
『自己実現』を図る児童会活動」

1 主題設定の理由

全体研究主題「集団や自己の生活上の課題を解決し、『自己実現』を目指す力を育てる特別活動」を受け、児童会活動部では「児童会活動における『自己実現』とは何かを考えた。そこで、本部会では、全体研究主題の『自己実現』を以下のように定義した。

異年齢交流活動の中で、「自分のなりたい姿」を目指して、全校のみんなのために、その活動の目的や意義を達成していくこと

児童会活動では、学年や学級を超えた異年齢集団での様々な活動が行われる。昨年度までの研究の中で児童の「自己有用感」を高めるためには、下級生から上級生への「あこがれ」の気持ちや上級生から下級生への「思いやり」の気持ちが必要であると考えた。「あこがれ」は、『自己実現』のベースとなる意欲の一つであり、全校のみんなのための活動を行う原動力である。児童会活動部では「あこがれ」の存在を「自分のなりたい姿」の一つと捉えた。自主的・

実践的な活動を積み重ね「あこがれ」と「思いやり」のスパイラルを意識した異年齢の関わりの中で、よりよい人間関係が築けると考えた。また、「あこがれ」の気持ちだけでなく、『自己実現』のベースとなる様々な意欲に目を向けて研究を進めていきたい。

そこで、本部会の研究主題を「関わりの中で『自己実現』を図る児童会活動」と設定し、年度当初のオリエンテーション等を通して、以下のことに留意することにした。

- 「児童の発意・発想を生かした活動」の場を保障する。
- 「課題の発見」から「振り返り」までの活動を一連の活動(学習過程)としてとらえる。
- 児童会活動の特質である「異年齢の人間関係」に焦点を当てる。

2 研究の視点

- ① 異年齢の関わりの中で『自己実現』につながる児童の様相を明確にする。
- ② 一連の活動を通して育つ力とその目的や意義を明確にする。
- ③ 学校全体で異年齢交流を組織的に取り組み、活動を広める。

3 検証授業の予定

- 10月25日(金) 世田谷区立松原小学校(代表委員会)
関田裕子 主任教諭・西澤絢子 教諭・浅井圭介 教諭
- 11月25日(月) 国分寺市立第五小学校(給食委員会)
岡本治美 主任教諭・塚田雅子 教諭

クラブ活動部

部長 高橋 信行 (足立区立千寿第八小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「共通の興味・関心を追求し、
自分のよさや可能性を伸ばすクラブ活動」

1 主題設定の理由

クラブ活動は、異年齢集団活動の楽しさを味わい自分たちの手で活動を作り出すための方法の理解や力の習得、人間関係をよりよく構築していくための相手を意識した思考力、多様な仲間の個性を受け入れ助け合ったり協力し合ったりしてよりよい人間関係を築こうとする態度といった資質・能力を育てる。

3年間の研究では、多様な「仲間のよいところ見付け」の方法で、クラブの仲間のよさに気付くことができるよう手だてを講じ、児童の人間関係に深まりが見られた。手だての有効性の検証では、クラブカードや作文等の個々の記録を、経過を追って比較したり他の児童と見比べたりしながら分析することで、児童の変容を捉え、指導の充実へとつなげた。また、「同好の仲間が集まる集団活動」という

クラブ活動の基礎的な特質に立ち返り、児童が興味関心を追求することができるようにするための手だてを、実践を通して検証した。

新主題となる今年度は、クラブ活動における自己実現を「共通の興味・関心を追求する活動を、楽しく豊かにするための課題を発見し、自分のよさや可能性を生かそうとすること」とした。これまでの研究で積み重ねてきた、毎時間及び年間の活動がよりよく展開されるよう指導の充実を図ることで、自分のよさや可能性に気付き、伸ばそうとする児童の育成を目指す。

2 研究の視点

- ① 一人一人の思いを大切にした指導の工夫
- ② 自他のよさや可能性に気付くことができる指導の工夫

3 検証授業の予定

- 10月 7日(月) 世田谷区立尾山台小学校
(PCクラブ) 矢部 聡 主任教諭
- 11月18日(月) 江戸川区立第四葛西小学校
(和風カードクラブ) 中本 健太郎 主任教諭

学校行事部

部長 原田 恵子 (中央区立有馬小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「仲間と共に自己のよさや可能性を
広げ生かす学校行事」

1 主題設定の理由

学校行事において自己実現を目指すには、まずは今の自分を理解することが大切である。そして学級や学年、学校という集団の中で、今の自分にできることを考え、めあてをもち行事に取り組んでいく。それぞれの活動の中で、自分の役割を果たしたり、互いのよさを見つけ合ったりする中で、新たな自分に気付き、それにより新たな可能性を見出すことができる。また、やってよかったという達成感や充実感を味わうことで、またやってみたい、次の新しいことにも挑戦したいという自信や希望にもつながる。

学校行事は、みんなで力を合わせ、個人や集団の力をより高め、自分の成長を実感できる場が多くある。これまでの研究で取り組んできた、「行事をつなぎ、つけた力を次の活動へとつなげていく」という過程を生かし、さらに自

己実現という大きな目標に向け努力していく力をつけていくための具体的な手だてを検証していく。今年度は、本研究主題での研究の1年目である。昨年度まで積み上げてきた手だてを重ねながら、各行事の実践を研究していく。

2 研究の視点

- ① 行事のつながりの中で、自分のよさや可能性を広げる指導の工夫
- ② 自己理解を通して、自己実現につながる活動の工夫
- ③ 仲間とともに、行事を創り上げる環境づくり

3 検証授業の予定

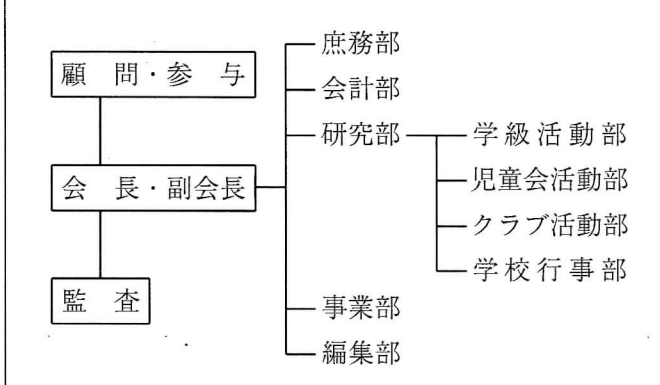
- 10月25日(金) 多摩市立多摩第二小学校
学級活動(3) 学習発表会事前指導(1年)
榎本 誠太 教諭
- 11月 1日(金) 江東区立有明西学園
学級活動(3) 学習発表会事後指導(5年)
山内 佳奈 主任教諭
- 11月21日(木) 板橋区立北前野小学校
学級活動(3) 学芸会事後指導(4年)
久原 千恵 教諭

令和元年度 役員・部員名簿

◎校長 ○副校長 ◇主幹教諭 ◆指導教諭 □主任教諭

役職名	氏名	地区・校名	研究部 副部長	大藏久美	◆小平・小平第六
会長	小島みつる	◎北・西浮間	〃 〃	渋井洋子	◆東久留米・南町
副会長	木田明男	◎小平・小平第三	〃 〃	大野和代	◆足立・千寿第八
〃	新井正一	◎新宿・落合第三	〃 〃	宮内有加	◆中央・明石
〃	伊藤幸一	◎東久留米・南町	〃 部員	佐藤真美	□小平・小平第十二
〃	岡野範嗣	◎大田・東六郷	事業部 部長	田村亜紀子	◎練馬・北町
庶務部 部長	今田喜紀	◎板橋・志村第三	〃 副部長	佐藤千晴	○国分寺・第二
〃 副部長	中村和弘	◎江東・毛利	〃 〃	齋藤光代	◇足立・東綾瀬
〃 部員	吉田和子	□江東・毛利	〃 部員	兼古勇介	□江東・有明西学園
〃 〃	鬼木雅人	□東久留米・第二	〃 〃	高野慶文	多摩・東落合
〃 〃	三浦聡子	□東久留米・第二	〃 〃	佐藤麻美	豊島・高松
会計部 部長	橋本弥記	◎国分寺・第八	〃 〃	梶井綾	□目黒・八雲
〃 副部長	吉田有子	○清瀬・清瀬第三	編集部 部長	石田孝士	◎世田谷・塚戸
〃 〃	小山晴美	○練馬・石神井台	〃 副部長	大野正人	○練馬・大泉北
会計(学級活動)	奥山優子	□江戸川・第六葛西	〃 部員	藤井美貴子	□世田谷・中町
会計(児童会)	畑理恵	□葛飾・南奥戸	〃 〃	酒井博子	東久留米・第六
会計(クラブ)	山口哲郎	葛飾・本田	〃 〃	仕道祐紀	世田谷・塚戸
会計(学校行事)	檜山真理子	□足立・舎人第一	〃 〃	梶原真唯	東久留米・第二
研究部 部長	氣田眞由実	◎板橋・上板橋第四	学級活動部長	藤田寛樹	◇文京・湯島
〃 副部長	篠遠信行	◎文京・根津	児童会活動部長	大藏久美	◆小平・小平第六
〃 〃	福山広信	◎中野・北原	クラブ活動部長	高橋信行	□足立・千寿第八
〃 〃	神谷なおみ	○江戸川・南小岩	学校行事部長	原田恵子	□中央・有馬
〃 〃	平松隆行	○東村山・南台	会計監査	梶千枝子	◎品川・旗台
〃 〃	佐藤美德	○多摩・貝取	〃	澤井康朗	◎東久留米・第七

[組織図]



編 集 後 記

会報105号をお届けします。
校務ご多用のところ、ご協力いただき
ありがとうございました。

(石田、大野、藤井、酒井、仕道、梶原)

